文化財技術（埋蔵系）職員の実務について

千葉県教育庁 教育振興部 文化財課

文化財課の仕事とは

千葉県には豊かな自然と歴史の中で育まれた、多種多様な文化財が残されています。

千葉県教育庁教育振興部文化財課では、こうした多くの文化財を適切に**継承**するとともに、
関係機関や文化財の所有者などと連携し、文化財の**保存・活用**を図っています。

文化財技術（埋蔵系）職員の主な配属先など

千葉県教育庁教育振興部文化財課

発掘調査班・・・・・・・・・千葉県の開発事業に係る埋蔵文化財発掘調査の実施

文化財普及・管理班・・埋蔵文化財及び指定文化財の公開・普及、出土文化財の管理・活用　など

埋蔵文化財班・・・・・・・埋蔵文化財の保護と地域開発との調整、埋蔵文化財発掘調査への助成　など

指定文化財班・・・・・・・文化財の調査・指定・登録、指定等文化財への保護・整備に関する指導・助成　など

異動先など

異動：千葉県環境生活部スポーツ・文化局文化振興課 など
　　千葉県立の博物館・美術館　など

派遣：公益財団法人千葉県教育振興財団
　　文化財センター・・・国事業に係る埋蔵文化財発掘調査の実施

文化財課採用後の各班の主な業務

発掘調査班

千葉県が行う公共工事に伴う発掘調査に、調査担当者として従事します。
勤務地は柏の葉分室(柏市)、四街道分室(四街道市)、森宮分室(大多喜町)で、
各分室から出張する発掘作業と、各分室内で実施する整理作業に従事します。
中小規模の発掘調査が中心となるので、発掘作業と整理作業の両方を担当する機会が多くあります。

文化財普及・管理班

指定文化財など（出土文化財も含む）の公開・活用事業に従事します。
指定文化財の見学事業や出土文化財を活用した小学校への出張授業、日本遺産にかかる普及活動を実施しています。

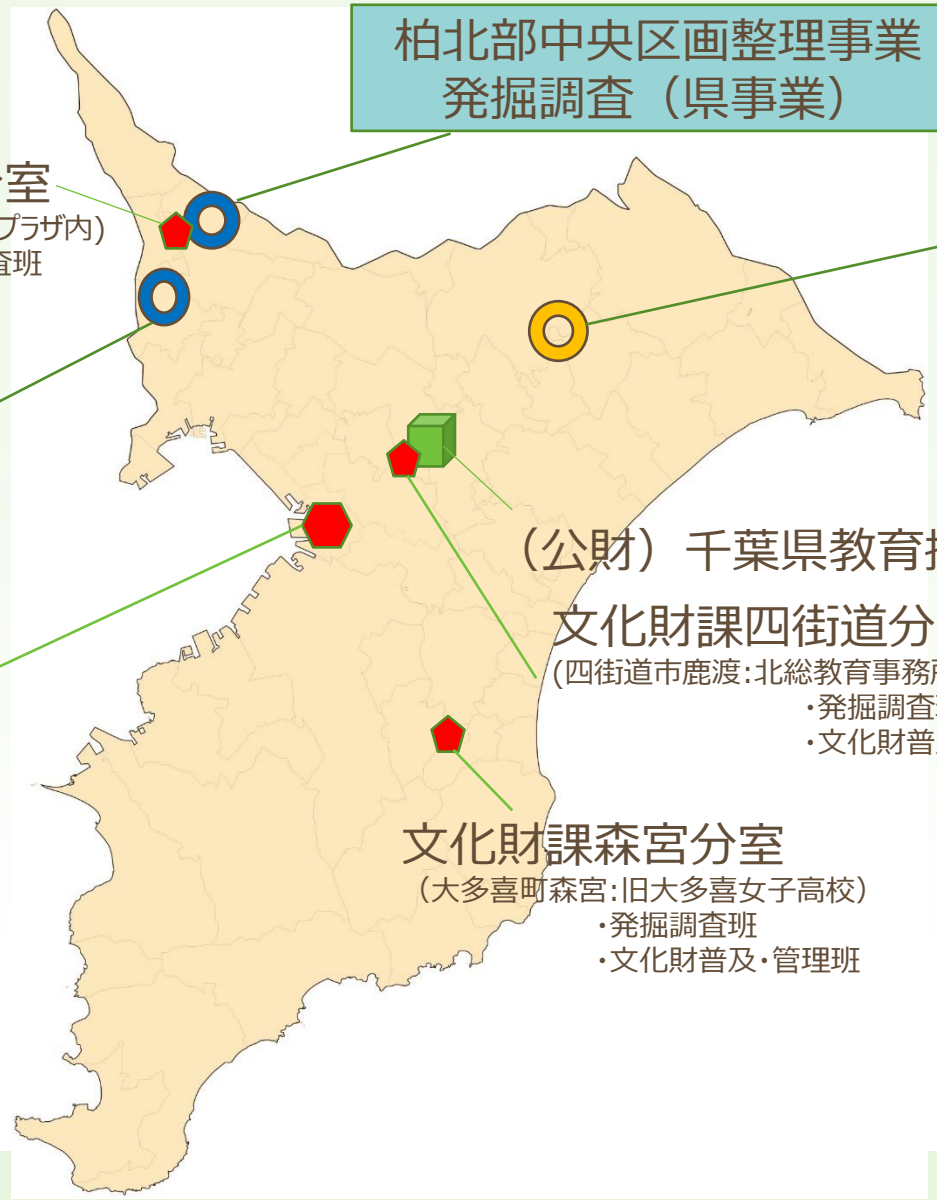
埋蔵文化財班

埋蔵文化財関係の届出に対する指示や、様々な内容の開発事業との調整を行っています。
また、県内の重要遺跡に関する調査も主要な業務の一つです。

指定文化財班

文化財の指定や、指定文化財の保存・活用について審議する「文化財保護審議会」の運営を行います。
また、文化財にかかる補助金事務も主要な業務となっています。
銃砲刀剣類の登録事務も行っています。

主な勤務地・発掘調査現場の位置（国・県事業）



柏北部中央区画整理事業
発掘調査（県事業）

成田空港関連発掘調査
（国事業）

流山運動公園区画整理事業
発掘調査（県事業）

文化財課柏の葉分室
(柏市柏の葉:さわやかちば県民プラザ内)
・発掘調査班

千葉県教育庁文化財課
・指定文化財班
・埋蔵文化財班
・文化財普及・管理班
・発掘調査班

（公財）千葉県教育振興財団

文化財課四街道分室
(四街道市鹿渡:北総教育事務所別館内)
・発掘調査班
・文化財普及・管理班

文化財課森宮分室
(大多喜町森宮:旧大多喜女子高校)
・発掘調査班
・文化財普及・管理班

期待される千葉県の文化財技術（埋蔵系）職員像

文化財課の業務には発掘調査・整理作業以外にも、文化財の指定や、出土品の活用など、埋蔵文化財に係る専門的な知識が不可欠です。就職してからも埋蔵文化財発掘調査の知識や技術を学び、高めていく意識が必要です。

また、埋蔵文化財に限らず、文化財全般にも広く興味を持ち、新しい分野に挑戦することや日々の仕事の積み重ねが千葉県の文化財の保存と活用につながるという意識をもつことも必要です。

このような意識を持てる方と、ともに仕事ができればと考えます。

先輩の声

文化財課発掘調査班
行木　絢子

R3年2月採用　文化財普及・管理班
R7年度より現職

Q1仕事のやりがいや魅力・印象的なことなどを教えてください。

昨年度まで普及・管理班に所属し、日本遺産北総四都市江戸紀行のPRや指定　文化財の公開事業などのイベント、小学生向けの勾玉づくりや火おこしなどの体験など、主に文化財の普及に携わる仕事をしていました。

文化財を通して地域の方々と交流できることが楽しいです。

Q2千葉県を志望した理由を教えてください。

地元・千葉県の文化財を守り伝えていく仕事に関わりたかったからです。

文化財は私たちの身近な場所にありますが、普段の生活の中では見えにくいことがあります。文化財に対しての理解を深めてもらい、県民の皆さんと一緒に守っていけるようにしたいと思います。

Q3文化財技術（埋蔵系）職員として働くうえで、心がけていることは何ですか。

文化財に触れる機会を増やすため、難しい専門用語を分かりやすい言葉や表現に置き換えて伝え、興味を持ってもらえるように絶えず工夫をしています。

そのためには、一人で考え込まず、地域の方々や先輩の意見を聞きながら、進めるよう心掛けています。

Q4受験生へ一言

文化財課は日々勉強が必要ですが、分からないことは何でも聞ける風通しのよい環境です。

失敗を恐れずに挑戦することで確実に力がついていき、経験の蓄積が仕事に生かせる職場です。

一緒に働けるのを楽しみにしています。

文化財課埋蔵文化財班
菅澤　由希

R2年度採用　発掘調査班
R4年度～　指定文化財班
R7年度より現職

Q1仕事のやりがいや魅力・印象的なことなどを教えてください。

昨年度まで指定文化財班に所属し、文化財の新たな指定・登録に関することなど、文化財の保存・活用を推進する仕事をしていました。

市町村や文化庁と連携し、多様な文化財を守る仕事に携われることにやりがいを感じます。国宝や重要文化財などの貴重な文化財を間近で見ることができる機会があるのも、魅力の一つだと思います。

Q2千葉県を志望した理由を教えてください。

学生時代に勉強したことを生かし、自身が生まれ育った地域の歴史や文化財を守り、後世に伝える仕事がしたいと思ったからです。

Q3文化財技術（埋蔵系）職員として働くうえで、心がけていることは何ですか。

失敗を恐れず、色々なことにチャレンジするようにしています。分からないことや疑問に思ったことは、自分で調べたり先輩や上司に教えてもらったりして、少しずつでも自分の経験値を伸ばしていけるよう心がけています。

Q4受験生へ一言

責任ある仕事を任され悩むこともありますが、やりがいのある仕事です。多くの人に千葉県の歴史や文化財の魅力が伝わるよう、ぜひ一緒に文化財の保存・活用に取り組んでいきましょう。

文化財課埋蔵文化財班
岡山　亮子

R3年度採用　埋蔵文化財班

Q1現在、どのような仕事をしていますか？また、仕事のやりがいや魅力・印象的なことなどを教えてください。

千葉県が実施する開発事業に係る埋蔵文化財の調整と、県内市町村に対する埋蔵文化財の技術支援が主な仕事です。

道路工事など、現代の人々の経済活動を向上させるために必要な事業と、それによって破壊されてしまうその土地の歴史と文化が残されている遺跡の保護を、どう両立させられるかを考える日々です。

Q2千葉県を志望した理由を教えてください。

市町村で文化財保護行政の最前線に携わることも魅力的ですが、より多くの事例に触れながら広域的な視野を持って文化財保護に携わりたいと思い、志望しました。

Q3文化財技術（埋蔵系）職員として働くうえで、心がけていることは何ですか。

現在携わっている仕事だけでなく、自らの興味関心に基づき広く情報収集するよう心掛けています。日常業務に従事しながらも少しでも知識を吸収していけるよう努めています。

Q4受験生へ一言

様々な経験や知識を持った職員が集まっています。その中で学びながら、千葉県内の埋蔵文化財保護と活用を進めていきましょう。

千葉県教育振興財団文化財センター派遣
川部　栞里

R4年度採用　文化財課発掘調査班
R7年度より現職

Q1どのような仕事をしていますか？
また、仕事のやりがいや魅力・印象的なことなどを教えてください。

国の開発事業に伴う発掘調査に従事しています。発掘調査では遺跡が失われる前に正確な記録を取り、情報を保存することを目的としています。

自分が携わった調査の記録や情報が、今後も県民共有の財産として生かされていく事に、大きなやりがいを感じます。

Q2千葉県を志望した理由を教えてください。

千葉県出身で、幼少期から地元の貝塚や史跡に興味があったのがきっかけです。

大学でも千葉県の遺跡や遺物を研究対象にしてきたということもあり、地元の文化財行政に貢献したいと考えました。

Q3文化財技術（埋蔵系）職員として働くうえで、心がけていることは何ですか。

基本ではありますが、「報告・連絡・相談」を徹底することです。

毎日現場に出ているとイレギュラーなことも起こるため、「報・連・相」を大事にし、その都度上司や先輩にアドバイスを頂くことで対処できています。専門的な技術に関しても、自信のない分野については先輩職員に相談することで基礎から指導していただき、経験を積み重ねています。

Q4受験生へ一言

千葉県は女性も男性も働きやすい職場です。

男性職員も積極的に育児休暇を取得していますし、埋蔵文化財行政で活躍する女性職員も多く、ロールモデルとなる先輩職員が沢山います。

ぜひ一緒に働けることを楽しみにしています。

千葉県教育振興財団文化財センター派遣
館　祐樹

H29年採用　文化財課発掘調査班
H30年度～　文化財課埋蔵文化財班
R2年度～　加曽利貝塚博物館
R4年度～　文化財課発掘調査班
R6年度より現職

Q2千葉県を志望した理由を教えてください。

大学卒業後は、他県の文化財行政に携わっていましたが、やはり、地元千葉県に貢献したいと思い志望しました。

子供の頃に遊んでいた遺跡の発掘調査に携わることもあり、感慨深いものがあります。

Q1現在、どのような仕事をしていますか？また、仕事のやりがいや魅力・印象的なことなどを教えてください。

国事業に係る遺跡の発掘調査、現場で記録したデータや、出土した遺物の整理を行い、その成果を広く公開し、後世に伝えるため発掘調査報告書を作成しています。

調査や整理の過程で、日々新しい発見があります。

さらに、県内・外の調査成果と比較することによって、遺跡の新たな価値が見えてきます。

Q3文化財技術（埋蔵系）職員として働くうえで、心がけていることは何ですか。

遺跡は一度発掘すると、二度と元に戻すことはできません。担当者として調査・整理の過程で得られた貴重なデータや気付きを、的確により多くの方に伝えられるよう心がけています。

Q4受験生へ一言

育児休暇などもあり働きやすい職場です。上司のフォローや、多くの同僚の理解と協力を得て、スムーズに職場復帰することができました。現在、仕事と両立しながら２人の子育てに奮闘中です。

ぜひ一緒に千葉県の文化財を守り伝えていきましょう。

勤務条件・研修など

給与・勤務時間・休暇などについて

〇地方公務員法・県が定める条例・千葉県職員の服務規程を基に決められています。
〇一定の職歴や上位の学歴がある人には、その経歴に応じて所定の金額が加算されます。
〇勤務時間：一般行政職と同様、原則週３８時間４５分、１日７時間４５分（週休２日制）。
〇休暇制度：一般行政職と同様、年次休暇、夏季休暇、結婚休暇、療養休暇など様々な休暇が取得できます。
〇子育てに関する支援制度
・女性職員：産前産後休暇　産前８週間から産後８週間まで取得できます。
・男性職員：育児参加（特別休暇）　産前８週間から産後１年間の間に、７日間の休暇を取得できます。
・育児休業：男性女性共に取得可能です。子が３歳になるまでの間、休業することができます。
・育児休暇・子育て休暇など：子の育児のために特別休暇として取得できます。

研修などについて

〇県職員としての基礎的知識・技能の習得のための「新採職員研修」や、県職員としての知識・技能を習得できる「パワーアップ研修」は全職員が対象となる研修です。
〇文化財課では発掘調査や整理作業の実務に係る研修を独自に行っています。
〇発掘調査担当者に必要な作業主任者（地山の掘削及び土止め支保工など）の講習や奈良文化財研究所の文化財担当者専門研修などを受講することもできます。